

授業改善 3つの強化ポイント 2017 (道徳編)

①児童生徒の学習意欲を高める課題の工夫

◆主題に対する児童生徒の興味や関心を高め、ねらいとする道徳的価値に方向付けることが大切です。

例 「マンガ家になろうー手塚治虫ー」 (A 個性の伸長)

教材の内容に興味や関心をもたせる導入の例



この人を知っていますか?
このマンガを知っていますか?

主題に関わる問題意識をもたせる例



大山さんは人と違ったところを自分らしさとして生かしていましたね。手塚さんはどんな風に自分を生かした人なのか考えながらお話を聞いてね。

児童生徒が考えたいという学習の必然性を喚起することが大切です。

②考えを広げ深める対話的な学びの充実

考え議論する道徳の授業に

◆ねらいとする道徳的価値について思考を深めさせるために、いかに話し合いを活性化させるかを考えると共に、ねらいから終末への着地点がぶれないようにすることが大切です。



手塚さんがマンガ家の道を選んだのはどうしてでしょう。

C: 絵を描くのが好きだったし、マンガを描いたら喜ばれたから。

C: 医者はお金がたくさんもらえるけれど、マンガ家になったのはそれだけではなかったと思う。

T: それってどういうこと?もう少し詳しく教えて。 **問い返し**

C: 絵を描くことが好きだったし、これまでもいろんな人が支えてくれたからやめたくない。

T: なるほどね。 **共感**

C: 絵を描くと周りの人がほめてくれたから。

T: ほめられたくてマンガ家になったってことかな。 **ゆさぶり**

C: そうではなくて、ほめられるくらい他の人よりも優れているから自信を持てるし、それを生かしたくてマンガ家になったのだと思う。



自分らしさを生かすとはどういうことなのでしょう。

グループで

私は自分は何が好きかを知ることだと思う。

ぼくは〇〇さんに付け加えて、自分の良さを伸ばすためには努力することも大事だと思う。

よさだけではなく、欠点を知ることでも大事かも。だって自分は欠点とって思っているけど、周りの人から見たら、そうではないこともあるから。

そうだね。ぼくも似ている、自分の良いところを伸ばすことも自分らしさを生かすことになると思う。



全体で



ペアで



ペアになってお互いの特徴や伸ばすところについて話してみよう。

ねらいに深く関わる中心発問の設定

- ・答えが分かりきったことではなく、考える必然性や切実感のある発問
- ・多面的・多角的に考えることができる発問
- ・自分との関わりで考えることができる発問

学習方法や学習形態の工夫

- ・ペアやグループ等、目的に応じた効果的な話し合いの工夫
- ・友達の考えを聴き合う座席の配置の工夫
- ・板書を生かす工夫(対比的、構造的に)

問い返しをする時のポイント

- ・表面的な話で終わりそうな時、別の視点で問い直したり、新たな気づきを促したりする
- ・一人の発言の意図を確かめたり、それを広げて対話へのきっかけにしたりする

質の高い多様な指導方法

- ・授業の主題やねらいに応じた適切な工夫をする
例◇読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
◇問題解決的な学習◇道徳的行為に関する体験的な学習

③学びを自覚し、次につなげる振り返る活動の充実

◆学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめたり、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりします。

- ・児童生徒が自らのよさや成長を実感できるように工夫する
- ・児童生徒が道徳的価値を実現するための課題や目標を考えられるように工夫する

教科化に向け、評価について校内で共通理解を図り、道徳ノートや道徳ファイル等の活用を進めていく

